

3. 本文の刷り上がりイメージ

2 ページ以降は本文、図表、写真を適宜組み合わせで入力して下さい。

見出し（節・項）の数字は Arial、タイトルはゴシック、前に空行を入れる。

図や写真は著者が挿入したい個所にオブジェクトか、拡張メタファイル形式で貼り付ける。図中の点や線、軸の目盛等は明瞭に分かるように大きさ等に注意して、単位系も明示して下さい。単位系は、本文・図表を含め、SI 単位系を基本とします。

表を1段組で用いる場合には、なるべくページ最下部にレイアウトすることをお勧めします。

1 ページ全面を図表に用いる場合は、そのページの設定スタイルを変更して下さい。上下左右に所定の余白が残るように図表の大きさを適切に調節して下さい。

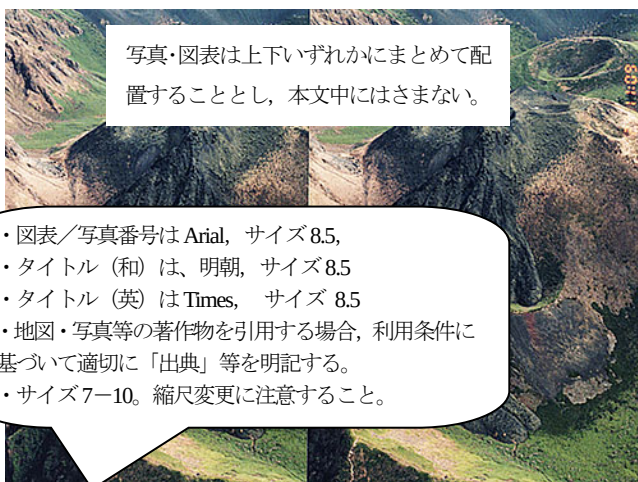


写真-1 実体視できる溶岩流のイメージ

Photo 1 Hypostazied image of lava flow

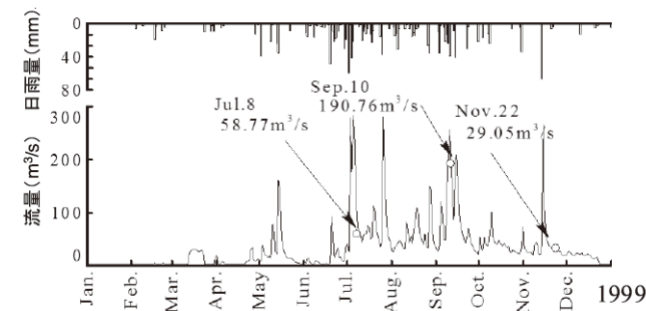


図-1 雨量と流量の関係¹⁾

Fig. 1 Relationship between rainfall and runoff

表-1 サンプル表

Table 1 Sample table

Directions	A	B	C	D
North	10	10	20	5
South	18	11	1	5
East	5	4	1	2
West	4	4	3	2

・図表／写真番号は Arial、サイズ 8.5、
・タイトル（和）は、明朝、サイズ 8.5
・タイトル（英）は Times、サイズ 8.5
・地図・写真等の著作物を引用する場合、利用条件に基づいて適切に「出典」等を明記する。
・サイズ 7-10。縮尺変更にご注意すること。

3.2 数式

数式の記入は、下のサンプルのように数式フォームを用いてください。1 行に収まらない場合には、2 行に分けて記入し、式番号は数式の直後から破線を引いて行末に示します。数式を本文中に記述する場合は、 $y=a/x$ などのように行内に収めて下さい。

$$\frac{\partial M}{\partial t} + \beta \frac{\partial}{\partial x}(uM) + \beta \frac{\partial}{\partial y}(vM) = -gh \frac{\partial H}{\partial x} - \frac{1}{\rho_T} \tau_{bx} \quad (1)$$

3.3 見出し、箇条書、句読点

本文中には次の見出し番号を付けて下さい。

第1 順位（章） 1. 2. 3. ...

第2 順位（節） 1.1 2.2 3.3 ...

第3 順位（項） 1.1.1 1.1.2 1.1.3 ...

箇条書き 1) 2) 3) ...

見出しの後は改行し、全角 1 字空けて本文を書き始めます。

なお、第1 順位（章）の前は1 行空けて下さい。

句読点は、カンマ（,）と丸（.）を用いてください。なお、

カッコなどには全角 1 字分を充ててください。

3.4 引用文献・参考文献

文献を引用する場合、引用文献方式と参考文献方式で形式が異なりますので注意してください。

3.4.1 引用文献方式の場合

本文中で例えば（芦田ら、1978）と書き、末尾に次の形式で記載します。

芦田和男・高橋保・水山高久（1978）：山地河川の掃流砂量に関する研究，砂防学会誌（新砂防），Vol.30，No.4，p.9-17

3.4.2 参考文献方式の場合

図-1 のタイトルのように参照箇所を片括弧で示し、末尾に次の形式で記載します。

1) 堀田紀文・厚井高志：山地からの土砂流出の変遷の実態－流域の土砂貯留量の変化に着目して－，砂防学会誌，Vol.63，No.5，p.52-61，2011

日本語の場合「・，：－」等は全角、巻号頁の「[-/」等は半角。英語の場合、半角記号と半角スペースを用いる；例)「: title, Vol.1, b: c」。web ページの引用の詳細は砂防学会誌執筆要領を参照してください。